

大学等における価値創造人材育成拠点形成事業の事例

京都大学

HISTORY MAKERS

本来を劇的に表現し、未来を美的に創造する。transforming history, innovating histories

【目的】

歴史を作ることができるイノベーターを養成する。個人による新奇のアイデア発想や未来の空想ではなく、過去に目を向け、社会の変化を読み解き、新しい時代を表現することで、力強く社会を動かすイノベーションを生み出すことを目指す。

【育成する人材像】

日常の中にある些細な違和感を感じ取り、現代社会を読み解くことができるような人文社会学の素養を持つと同時に、デザイン・アートの実践を身近に体感することを通して、新たな時代を表現することができる人材を育成する。

【カリキュラムの特徴】

潜在ニーズを満たすという枠組みが強調される従来の創造性教育や方法論の乗り越えを画策した、新たな創造性を育む5つの科目と、その学びを受講者自らが抱える課題に落とし込む2つのワークショップを提供する。アカデミアのみならず、第一線で活躍するアーティストやデザイナーとの対話を通して、知識の涵養とデザイン実践の両輪を徹底的に実施するカリキュラムを計画している。

【プログラム実施に向けた連携体制】

京大デザインスクール（リーディング大学院）での成果をベースに、芸術学を専門とする教員陣を加えた京都大学、先進的なデザインを実践する京都工芸繊維大学（KYOTO Design Lab）、そして日本の現代アート・デザインの本流として長年に渡り知の蓄積と教育を担ってきた京都市立芸術大学の3校が母体となりプログラムを実施する。また、メンターやファシリテーターとしてデザイナーやアーティスト、創造性、美、デザインなどに造詣の深い企業が参画する。

【履修資格（令和4年度以降）】

広く門戸を開くことを想定しており、履修資格は特に求めないが、受講動機や将来の展望等受講生は適性に従って選抜する。

【募集期間・受講期間・受講定員（令和4年度以降）】

募集期間は今後決定する・7ヶ月（全90時間を想定）・20～30名